

食品ロスの削減について

消費者庁消費者教育推進課
食品ロス削減推進室

食品ロスの現状及び制度など

食品ロスをめぐる現状

我が国の食品ロスの状況

- 食品ロス量は年間**600万トン** (平成30年度推計) ≈国連世界食糧計画 (WFP) による食料援助量 (約420万トン) の1.4倍
- 毎日大型 (10トン) トラック**約1,640台分**を廃棄
- 年間1人当たりの食品ロス量は**47kg** →年間1人当たりの米の消費量 (約54kg) に近い量

<日本>

食料を海外からの輸入に大きく依存

- ・ 食料自給率 (カロリーベース) は**38%**
(農林水産省「食料需給表 (令和元年度)」)



廃棄物の処理に多額のコストを投入

- ・ 市町村及び特別地方公共団体が一般廃棄物の処理に要する経費は**約2.1兆円/年**
(環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等について (平成30年度)」)

食料の家計負担は大きい

- ・ 食料が消費支出の**1/4以上**を占めている
(総務省「家計調査 (2020年)」)

深刻な子どもの貧困

- ・ 子どもの貧困は、**7人に1人**と依然として高水準
(厚生労働省「2019年 国民生活基礎調査」)

<世界>

世界の食料廃棄の状況

- ・ 食料廃棄量は年間**約13億トン**
- ・ 人の消費のために生産された食料のおよそ1/3を廃棄
(国連食糧農業機関 (FAO) 「世界の食料ロスと食料廃棄 (2011年)」)



世界の人口は急増

- ・ 2019年は約77億人、2050年には**約97億人と予測**
(国連「World Population Prospects The 2019」)

深刻な飢えや栄養不良

- ・ 飢えや栄養で苦しんでいる人々は**約8億人**
- ・ 5歳未満の発育阻害は**約1.5億人**
(国連食糧農業機関 (FAO)
「the STATE OF FOOD SECURITY AND NUTRITION IN THE WORLD (2019)」)

- 「食品ロス」 = 本来食べられるのに捨てられる食品
- 我が国の食品廃棄物等※¹は年間2,531万トン、
うち食品ロスは600万トン※²
 - ・国連世界食糧計画（WFP）による食料援助量※³（約420万トン）の1.4倍
- 食品ロスの内訳
 - ✓ 事業系：324万トン（54%）
 - ✓ 家庭系：276万トン（46%）
- 食品ロスの約半分は家庭から

※1 飼料等として有価で取引されるものや、脱水等による減量分を含む

※2 平成30年度推計（農林水産省・環境省）

※3 国連世界食糧計画（World Food Programme: WFP）2019年実績

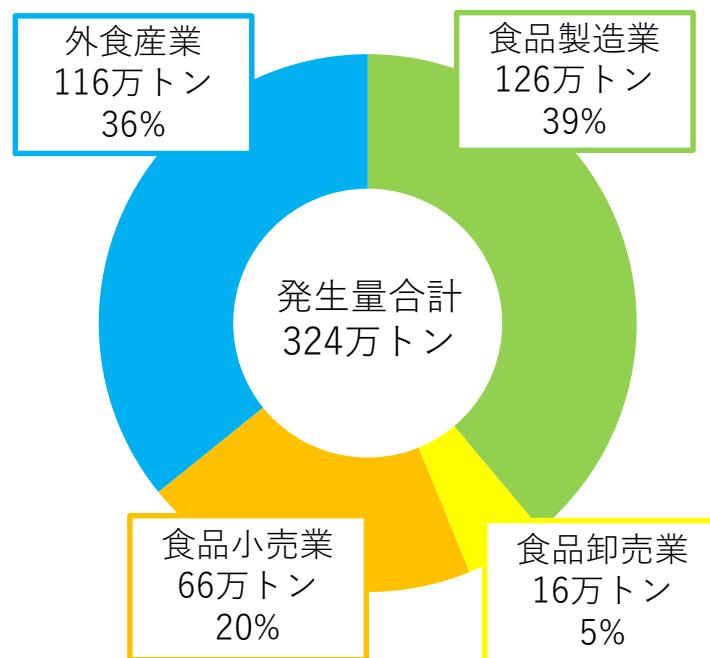
〈食品ロス（推計）の経年変化〉

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
食品ロス量	642万トン	632万トン	621万トン	646万トン	643万トン	612万トン	600万トン
国民1人当たり 換算	50 kg	50 kg	49 kg	51 kg	51 kg	48 kg	47 kg

発生要因（内訳）

事業系食品ロス（可食部）の業種別内訳

（平成30年度・農林水産省推計）



製造・卸・小売事業者

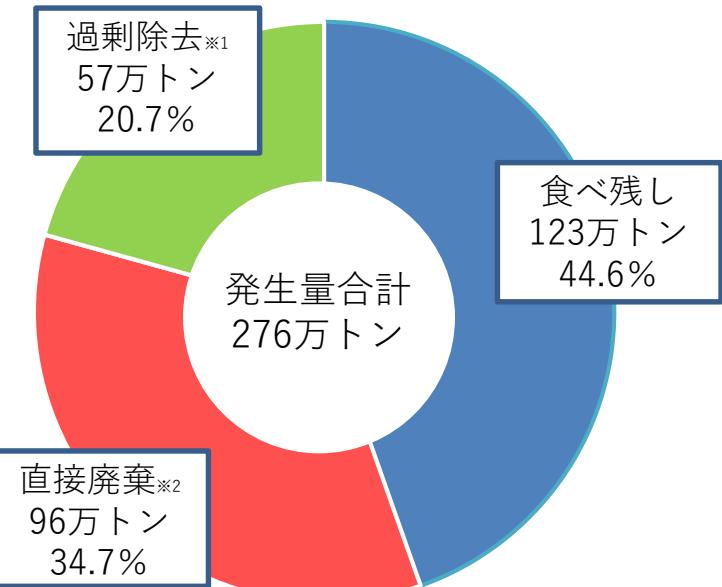
○製造・流通・調理の過程で発生する規格外品、返品、売れ残りなど

外食事業者

○作り過ぎ、食べ残しなど

家庭系食品ロスの内訳

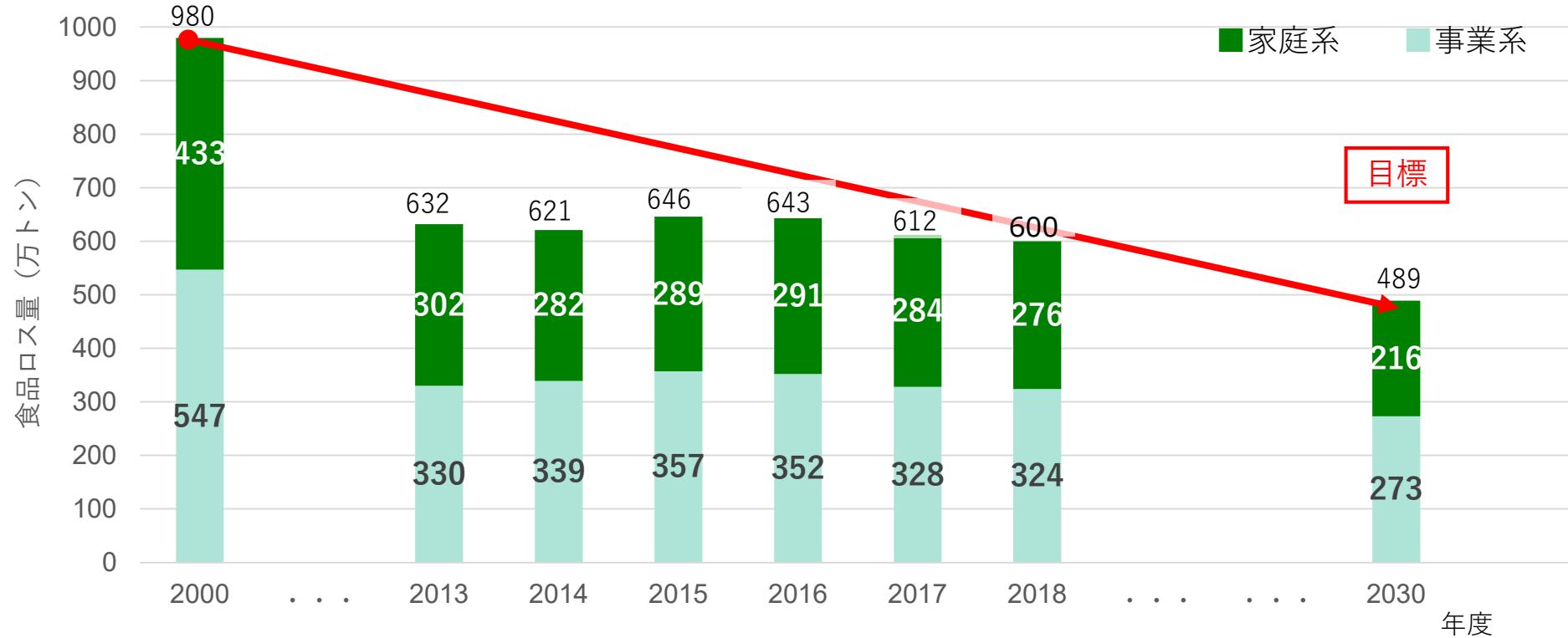
（平成30年度・環境省推計）



※1: 野菜の皮を厚くむき過ぎるなど、食べられる部分が捨てられている
※2: 未開封の食品が食べずに捨てられている

食品ロス量の推移と削減目標

2030年度に、2000年度と比べ、家庭系食品ロス量、事業系食品ロス量いずれも半減できるよう取組を推進。



年度	2000	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2030
家庭系	433	302	282	289	291	284	276	216
事業系	547	330	339	357	352	328	324	273
合計	980	632	621	646	643	612	600	489

「食品ロスの削減の推進に関する法律」

(令和元年法律第19号)

多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進

【法律の内容】

- 国・地方公共団体・事業者の責務、消費者の役割、関係者相互の連携協力
- 食品廃棄物の発生抑制等に関する施策における食品ロスの削減の推進
- 食品ロス削減月間
- 基本方針
 - 政府は、食品ロスの削減の推進に関する基本方針を策定（← 令和2年3月31日閣議決定）
 - 都道府県・市町村は、基本方針を踏まえ、食品ロス削減推進計画を策定
- 基本的施策
 - ① 消費者、事業者等に対する教育・学習の振興、知識の普及・啓発等
 - ② 食品関連事業者等の取組に対する支援
 - ③ 食品ロスの削減に関し顕著な功績がある者に対する表彰
 - ④ 食品ロスの実態調査、食品ロスの効果的な削減方法等に関する調査研究
 - ⑤ 食品ロスの削減についての先進的な取組等の情報の収集・提供
 - ⑥ フードバンク活動の支援、フードバンク活動のための食品の提供等に伴って生ずる責任の在り方に関する調査・検討
- 内閣府に食品ロス削減推進会議（会長：内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全））を設置

食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針

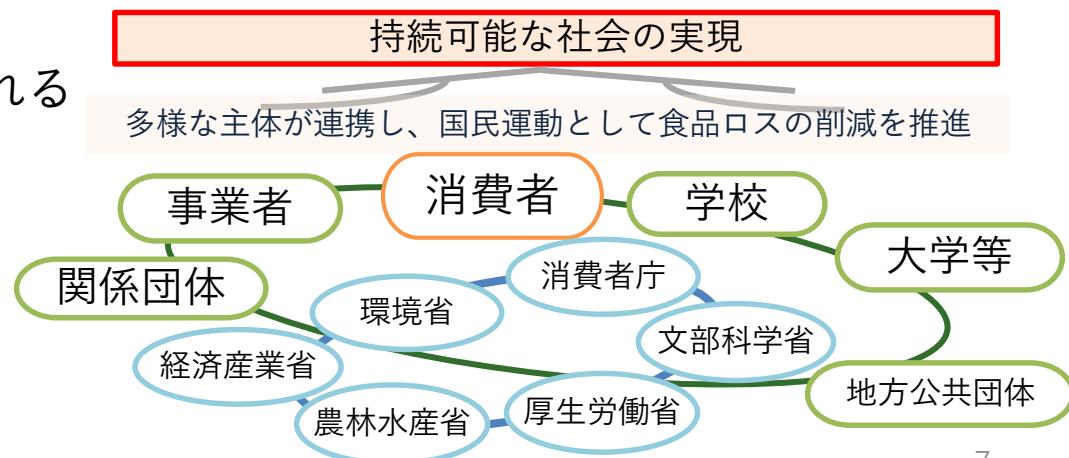
(令和2年3月31日閣議決定)

「食品ロスの削減の推進に関する法律」の規定に基づき、行政、事業者、消費者等の取組の指針となるものとして策定

食品ロス削減推進の基本的な方向

国民各層が食品ロスの問題を「他人事」ではなく「我が事」として捉え、「理解」するだけにとどまらず「行動」に移すことが必要。

- ・ 食べ物を無駄にしない意識を持ち、
- ・ 食品ロス削減の必要性について認識した上で、
- ・ 生産、製造、販売の各段階及び家庭での買物、保存、調理の各段階において、食品ロスが発生していることや、
- ・ 消費者、事業者等、それぞれに期待される役割と具体的行動を理解し、
- ・ 可能なものから具体的な行動に移す



食品ロスの削減の推進において消費者、食品の生産・製造・販売等に関わる事業者等に求められる役割と行動

各々の主体がそれぞれの立場で、食品ロスの問題を「他人事」ではなく、『我が事』として捉え、行動に移すことを促進。

《消費者》

日々の生活の中でできることを一人一人が考え、行動に移す。

- 例)
- 買物の前に家にある食材をチェック。
 - 定期的な冷蔵庫内の在庫管理。
 - 食卓に上げる料理は食べきれる量に。
 - 外食時は食べきれる量を注文、宴会時の3010運動等の実践、残った場合は自己責任の範囲で持ち帰り。



《農林漁業者・食品関連事業者》

事業活動による食品ロスを把握、商慣習を含め見直しに取り組む。

- 例)
- 規格外や未利用の農林水産物の有効活用。
 - 賞味期限表示の大括り化、賞味期限の延長、納品期限（3分の1ルール）の緩和。
 - 季節商品（恵方巻きなど）の予約販売等。
 - 値引き・ポイント付与等による売り切り。
 - 外食での小盛りメニュー等の導入。
 - 持ち帰りへの対応。



〔恵方巻きのロス削減プロジェクトの目印〕



〔小盛りメニュー等の導入〕

《国・地方公共団体》

消費者等への普及啓発、食品関連事業者等の取組への支援、情報の収集・提供、未利用食品を提供するための活動の支援等を実施。

- 例)
- 食品ロス削減の施策の推進。
 - 災害時用備蓄食品の有効活用。
 - 主催イベントでの食品ロスの削減。

都道府県及び市町村は、地域の特性を踏まえた取組を推進するため、「食品ロス削減推進計画」を策定（努力義務）。
国は、計画策定を促進。



〔期限切れの災害用備蓄食品の提供〕

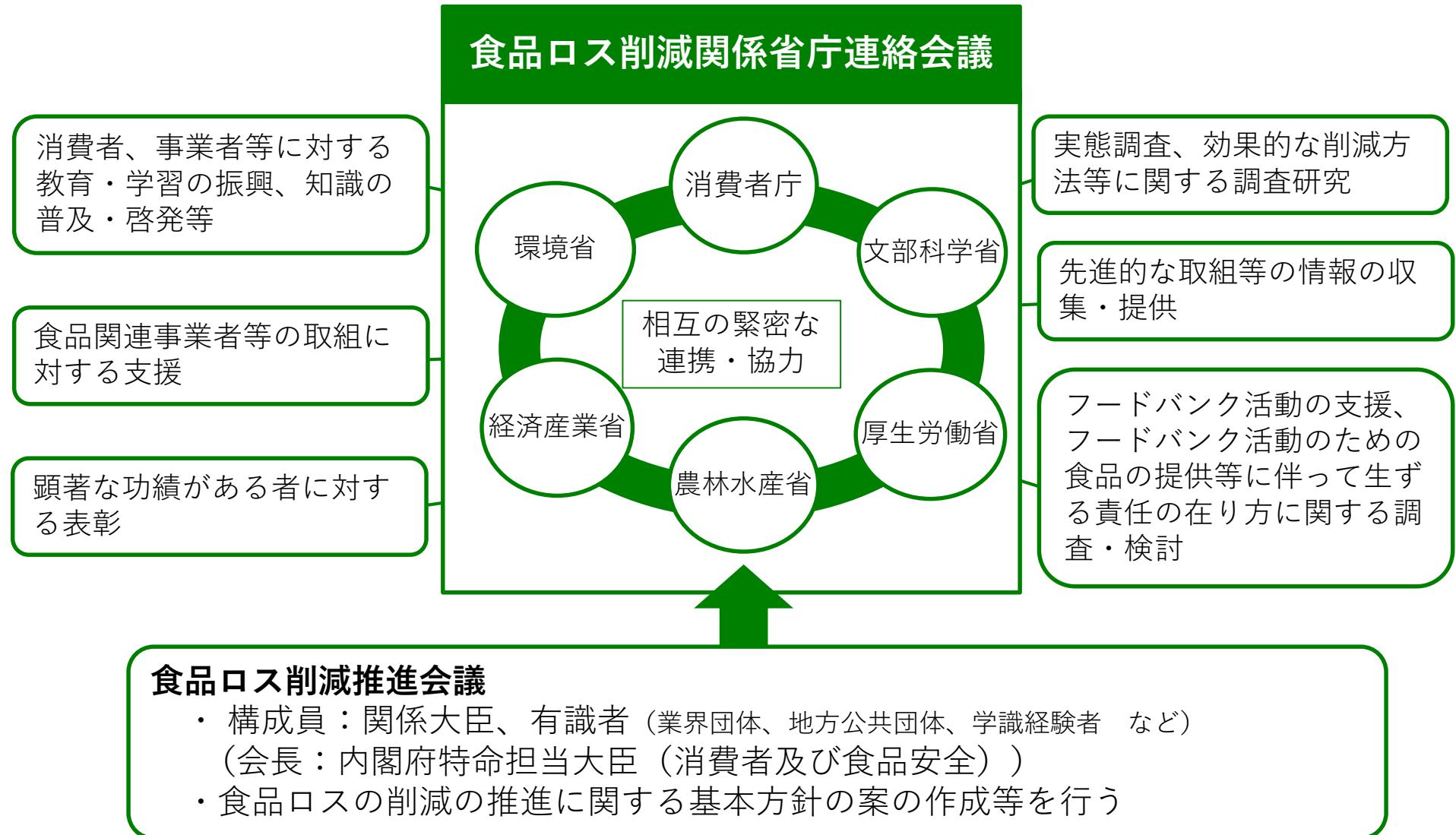


〔食品ロス削減全国大会〕

削減目標等

- 家庭系食品ロス、事業系食品ロスとともに、2000年度比で2030年度までに食品ロス量を半減
- 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：80%

食品ロスの削減に向けた政府の体制



具体的な取組の事例

消費者への普及啓発

消費者向け啓発用リーフレットの作成・配布

食品ロスを減らしましょう

あなたも1日で **お茶碗約1杯分** の食べものを無駄にしているかも？！

令和元年10月1日「食品ロスの削減の推進に関する法律」施行

本法律は、食品ロスの削減に関し、国、地方公共団体等の責務等を明らかにするとともに、基本方針の策定その他食品ロスの削減に関する施策の基本となる事項を定めること等により、食品ロスの削減を総合的に推進することを目的としています。

① 日本では、本来食べられるのに捨てられる食品、いわゆる「食品ロス」が年間600万トン以上発生しています。毎日、(大型10ントラック約1,760台分の食品を廃棄している計算です。

② 消費者庁では、食品ロスを減らすための様々な情報を発信しています。詳しくは、消費者庁ウェブサイトをご覗ください。

食品関連事業者も、過剰在庫や返品等によって発生する食品ロスの削減に向けて動き出しています。消費者の皆様も、食品ロスの削減に向けてご協力をお願いします。

食べ物のムダなく使うプロジェクト

今日から実践！ 食品ロス削減 家庭編

「必要な量だけ購入」して「食べきる」ことが削減のポイントです。

買物

- 事前に冷蔵庫内などをチェック
 - メモ書きや携帯・スマホで撮影した画像が有効
- 買物は使う分だけ
 - 使う・食べられる量を購入しましょう。
- 手前に陳列されている食品をチョイス
 - 家庭での利用予定に照らして期限表示を確認しましょう。

保存

- 最適な保存場所に
- 保存方法に従て最適な場所に保存

- ローリングストック
- 期限の長い食品を奥に、近い食品を手前に

- まとめて下処理
- 冷冻・乾燥・塩蔵などでストック



調理

- 残っている食材から使う

- 食べきれる量を作る
- 体調や健康にも配慮



- 食材を上手に使える

- 定期的に冷蔵庫や収納庫を整理する日を決める
(例:毎月●日はあるものでお好み焼きデー)

もし、食べきれなかった場合は、他の料理に作り替えるなど、献立や調理方法を工夫しましょう。詳しくはQRコードへ
クックパッド消費者庁のキッチン(公式ページ)



ご家庭からの食品ロスを計量し、記録するだけでも気付きが得られます。
まずは一週間、記録してみましょう。記録様式がダウンロードできます。



私の食品ロス削減チャレンジ (チャレンジする行動目標を書いてみましょう)



10月食品ロス削減月間における取組の推進

令和元年10月1日施行された食品ロス削減推進法で、10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」と定められました。

消費者庁、農林水産省、環境省は共に、食品ロス削減月間の周知及び取組の啓発を行いました。

〈令和元年度版ポスター〉



〈令和2年度版ポスター〉



令和2年度版は、
全国の地方公共団
体に配付

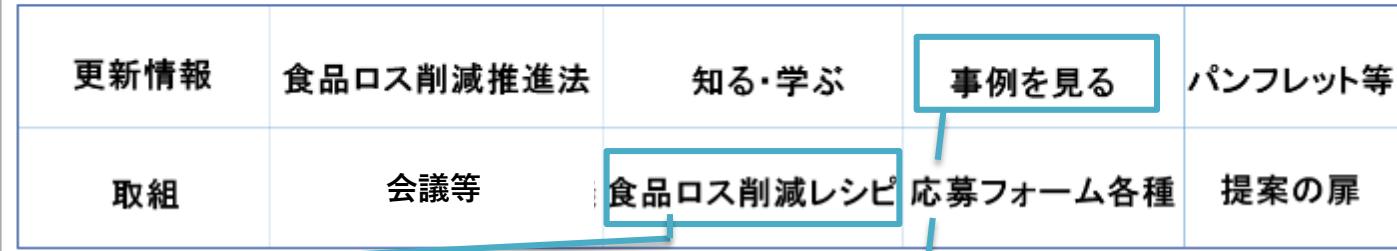
webサイトにおける情報提供

消費者庁ウェブサイト



消費者庁 食品ロス 検索

[食品ロス削減]食べ物のムダをなくそうプロジェクト



● クックパッド「消費者庁のキッチン」
食材を無駄にしないレシピを掲載



● 地方公共団体、民間、学生等の取組を紹介

地方公共団体と飲食店との協働

地方公共団体との取組として、
食べ残しを減らす飲食店数は、
全国で17,139店舗（2019年度）



〈おいしいふくい食べきり運動協力店
ステッカー（福井県）〉

大学生の取組

- 食品ロスの実態を調査し、若者向けの冊子の作成
- 災害時用備蓄食料や自宅に眠っている食品を有効活用した料理レシピの考案



〈災害時用備蓄食料を活用した料理レシピ考案の取組
(愛知学院大学)〉

食品ロス削減特設サイト

主に消費者や家庭向けにより分かりやすく情報を発信するため、**食品ロス削減特設サイト「めざせ！食品ロス・ゼロ」を開設**。食品ロスの問題、外食時・家庭での食品ロスを減らすために、消費者としてできる食品ロス削減の取組やコツ・工夫を発信。

The screenshot shows the homepage of the official website for food waste reduction. The header includes the Consumer Affairs Agency logo and links for Home, Emergency Food, Food Waste?, Eat Out Properly, Household Food Waste, and Mezasse! Food Waste Zero. A text input field for font size (標準 or Large) is also present. The main visual features a large, stylized letter 'O' composed entirely of various food items like fruits, vegetables, and meats. To the left, there's a large 'めざせ！食品ロスゼロ' logo with a hand icon pointing to the 'ゼ' character. Below it is the text 'できることから始めてみよう！'. On the right, there's a section titled '新着情報' (New Information) with several news items from 2020, each with a small thumbnail image.

- 消費者庁【2020.04.14】 NEW 食品ロス量(平成29年度推計)の公表について
- 消費者庁【2020.03.19】 食品の期限表示(賞味期限・消費期限)について知ろう
- 消費者庁【2020.02.14】 おしらせ!「食品ロス削減関係参考資料」を更新しました。 おしらせ!食品ロス削減に取り組む民間の事例を掲載しました。 一般社団法人日本オーガニックライフ協会・オーガニック料理教室G-veggie「食べものを大切に、「フードロスゼロ料理アドバイザー資格認定講座」を開始」について おしらせ!食品ロス削減啓発用冊子に関する正誤表について
- 消費者庁【2020.02.14】 おしらせ!Newドギーバッグアイデアコンテストの開催について

【常設ページ】

- トップページ
(新着情報・政府広報オンラインとの連携 等)
- 食品ロスとは何か
- 外食時の食べきり
- 家庭での食品ロス
- めざせ！食品ロスゼロ

【季節ものやキャンペーン等のトピック掲載】

- 食品ロスにしない備蓄のすすめ
- 恵方巻きの予約販売の活用
- 「新しい生活様式」での食品ロス削減の工夫など



消費者庁食品ロス削減特設サイト
めざせ！食品ロス・ゼロ
<https://www.no-foodloss.caa.go.jp/>



食品ロス削減推進大賞

消費者等に対し広く普及し、波及効果が期待できる、食品ロス削減の推進に資する取組を行った者に対して表彰を行うことにより、食品ロス削減の取組を広く国民運動として展開していくことを目的として、令和2年度から表彰を実施。

令和2年度食品ロス削減推進大賞 受賞者

内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）賞

株式会社 ハローズ

持続可能なフードバンクへの商品提供の仕組み（ハローズモデル）の開発と同業各社及びメーカーへの幅広い普及活動で飛躍的に提供商品を拡大

消費者庁長官賞

○井出留美

日本初の「食品ロス削減推進法」成立に協力 2008年から13年間継続し多くの「日本初」を生んできた食品ロスのエバンジェリスト（伝道師）としての広報・啓発活動

○株式会社クラダシ

日本初・最大級の社会貢献型フードシェアリングプラットフォーム「KURADASHI」

○チーム「それいいね!!」

タイトル：「食べてほしーる。」

キャッチコピー：賞味期限、短い方買ったが良いっちゃない

ほかに、審査委員長賞（5点）を授与



暮らしの中で実践できる食品ロス削減の取組を始めたきっかけはなんでしたか？

皆さんがやってみようと思う、人に勧めてみようと思う、

そんな「食品ロス削減」の活動を募集しています。

地方公共団体、企業、団体、学生など様々な方からの応募をお待ちしています。

About 食品ロス削減推進大賞とは？

食品ロス削減の発達に貢献する取組を実施している者であって、消費者等に対し広く普及し、波及効果が期待できる活動を行った者に対する表彰を行うことにより、食品ロス削減の取組を広く国民運動として展開していくことを目的として、表彰を行います。

店舗いただいた内容は、「食品ロス削減推進大賞選定会議」において、選考基準に基づき、審査を行います。

Entry 応募方法

専用の推薦調査様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、添付書類を添えて、以下消費者庁専設サイト「めざせ! 食品ロス・ゼロ」内の食品ロス削減推進大賞応募フォームからお申込みください。

◆メールアドレス登録から24時間以内にアクセスして下さい。お申込みいただけなく要領がござります。 推奨書と必要書類をご用意の上、お送りください。

https://www.mext.foodloss.cas.go.jp/information_award.html

※協 創業者
後援 農林水産省、環境省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省

消費者庁

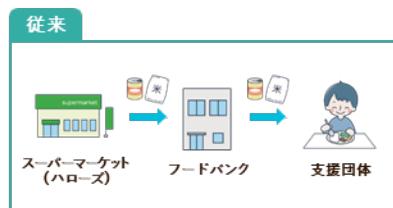
令和3年度応募ページ



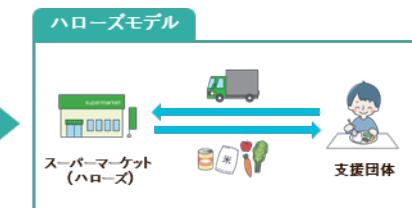
令和2年度
食品ロス削減推進大賞
内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)賞
 株式会社ハローズ

持続可能な商品提供の仕組み(ハローズモデル)の開発と
同業他社及びメーカーへの幅広い普及活動で取組を飛躍的に拡大

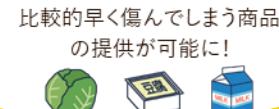
ハローズモデルとは?



事業者等から寄付された食品をフードバンクに集めて、福祉団体等の支援団体へ配布



フードバンクを介さず、支援団体が直接近隣の店舗に引取りに行く



比較的早く傷んでしまう商品の提供が可能に!

パート社員の一言



食べられる商品を廃棄するのもったいない!

→この一言をきっかけにフードバンクへの提供を開始(2015年)
翌年、「ハローズモデル」を開発



支援の輪を広げ提供量拡大へ

ハローズモデルは、全国的に広がりつつあります。岡山県内では、(株)ハローズの呼びかけにより、80%近くのスーパーがハローズモデルを活用しています。さらに、スーパー以外(一部のドラッグストア・食品問屋等)でも、提供が開始されています。

また、全国のスーパーで更に食品ロス削減を推進するため、日本スーパーマーケット協会も、ハローズモデルでの提供を各社に呼びかけています。



▲岡山県内のスーパーマーケットでのハローズモデル活用率

お話を伺いました

全国のスーパーに向けて

全国のスーパーマーケットの皆様にも、ぜひ、「ハローズモデル」をご活用いただければと思います。「ハローズモデル」では、スーパーマーケット側は経費がほとんど掛かりません。食品ロスが大幅に削減され、提供する子ども食堂等には数多くの商品が届きます。ぜひ、ご協力をお願いします。



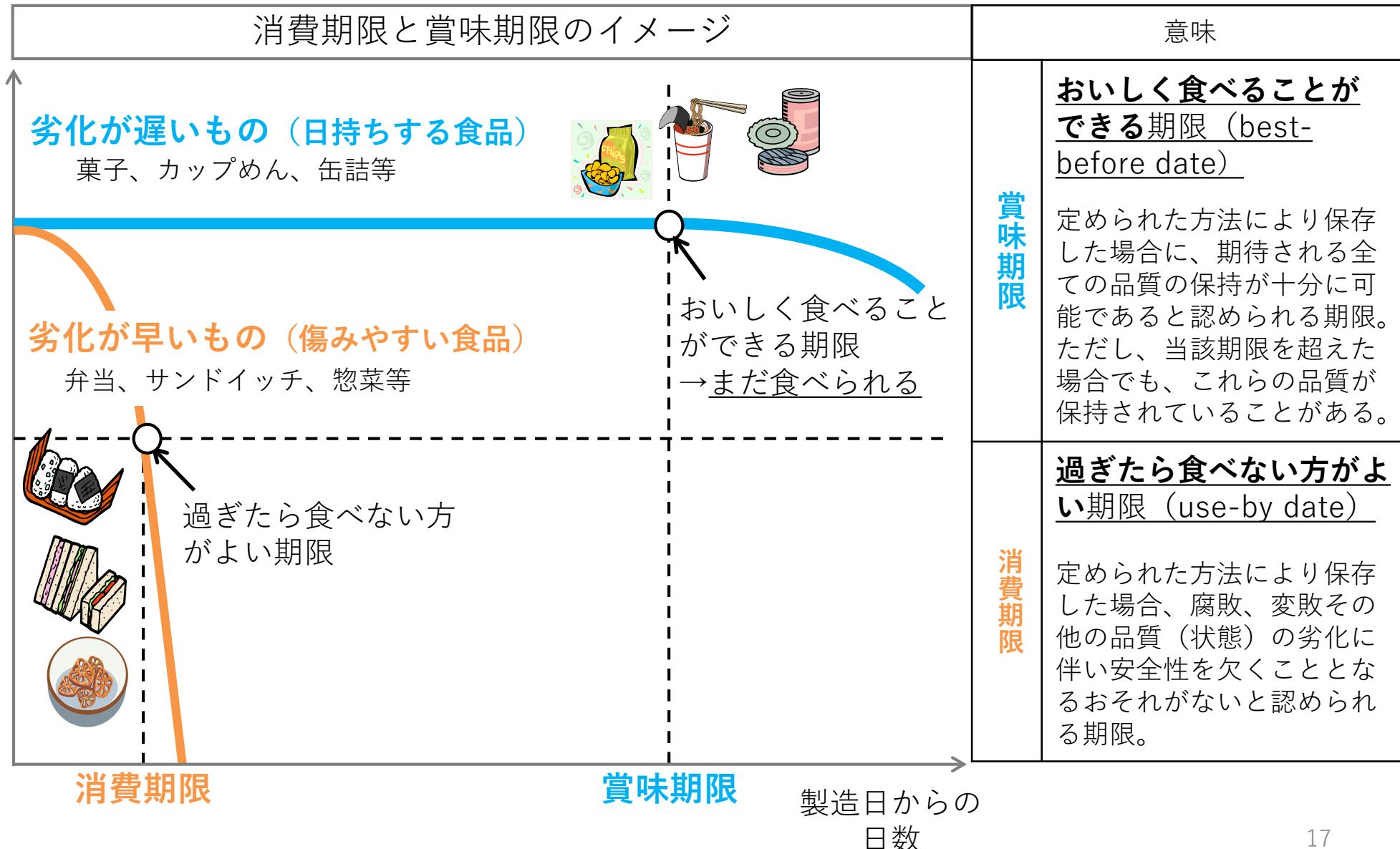
(商品ライン本部 商品管理室長 太田 光一 氏)

株式会社ハローズ

1958年設立。
岡山県を中心に中国・四国地方にて食料品スーパー マーケットを展開し、地域の食に貢献。

 ハローズ

賞味期限と消費期限



「賞味期限」の愛称・通称の募集

作品募集

「賞味期限」の愛称・通称コンテスト 私の食品ロス削減スローガン &フォトコンテスト

応募締切
2020年
9月11日
(金)

食べられるのに捨てられてしまう食品を減らしましょう。

「おいしい期限」
近所のスーパーで販売する
「賞味期限はおいしい期限」
食品の会社が日持ちすることをお知らせください。
賞味期限は、すぐに感覚が商品に示した期限で、すぐには食べられないことを表現してみません。
#消費者庁賞味期限
@caa_nofoodloss

「おいしい食べられる期間」
賞味期限は、食べられないくなる期限ではなく、その期間内なら保存方法を守っていればおいしく食べられる期間だ。地域の勉強会で勉強したので、その時思ったことを表現してみました。
#消費者庁賞味期限
@caa_nofoodloss

「おいしい食べられる期間」
賞味期限は、食べられないくなる期限ではなく、その期間内なら保存方法を守っていればおいしく食べられる期間だ。地域の勉強会で勉強したので、その時思ったことを表現してみました。
#消費者庁賞味期限
@caa_nofoodloss

※これらは、応募イメージです。

消費者庁食品ロス削減 Twitter アカウント
@caa_nofoodloss をフォローして、
必要事項を入力のうえ、投稿（応募）してください。
詳しくは、裏面を見てね。

消費者庁 食品ロス 検索

コンテスト作品募集！

「賞味期限」の愛称・通称コンテスト」と「私の食品ロス削減スローガン&フォトコンテスト」

食品ロス削減のための広報・啓発活動の一環として、「賞味期限」の正しい理解を促進する観点から、「賞味期限」の愛称・通称コンテストとして、「賞味期限」の愛称・通称の応募を行います。

また、「私の食品ロス削減スローガン & フォトコンテスト」として、食品ロス削減への独自の取組やエピソードに基づいて作成した食品ロス削減に向けた自らのスローガン（宣言）と、その想いを表現した写真を募集します。

部門 A 「賞味期限」の愛称・通称コンテスト

（応募例）

「賞味期限はおいしい期限」①

賞味期限は食品の会社が日持ちする食品に示した期限で、すぐに風味が悪くならないことを表現してみました。②

#消費者庁賞味期限 ③
@caa_nofoodloss ④

「おいしい期限」は
おいしく食べることができる期限です。忘れた方法により保管した場合、期待される全ての旨みの保持が十分に可能であると認められる期限です。ただし、当該期限を超えた場合でも、これらの旨味が保持されることがあります。

「賞味期限の愛称・通称」としてふさわしい名称

■応募資格 日本国内在住の方

■応募方法 Twitter で、
消費者庁食品ロス削減アカウントをフォローのうえ、
① 応募者が考案した賞味期限の愛称・通称として
ふさわしい名称
② その理由・エピソード又は普及させるアイデア
③ ハッシュタグ #消費者庁賞味期限
④ タグ @caa_nofoodloss
を投稿してください。

■表彰 優秀作品に対し、
「内閣官房令担当大臣（消費者及び食品安全）賞」1点
「消費者庁長官賞」1点。

部門 B 私の食品ロス削減スローガン & フォトコンテスト

（応募例）

近所のレストランで、食べられると思って注文したけど、意外と多かった。お店の方に尋ねたら、持ち帰りパックをくれました。①

「シャーリング・パートの挽肉丼 テイクアウトボックス」②

#消費者庁フォトコン③
@caa_nofoodloss ④

※これらは、応募イメージです。

食品ロス削減に取り組むスローガン（宣言）とその写真

■応募資格 日本国内在住の方

■応募方法 Twitter で、
消費者庁食品ロス削減アカウントをフォローのうえ、
① 投稿する画像について、食品ロス削減につながる
取組又はエピソード
② 「私の食品ロス削減」のスローガン（宣言）
③ ハッシュタグ #消費者庁フォトコン
④ タグ @caa_nofoodloss
⑤ 「私の食品ロス削減」のスローガン（宣言）に当たる写真
を投稿してください。

■表彰 優秀作品に対し、
「内閣官房令担当大臣（消費者及び食品安全）賞」1点
「消費者庁長官賞」1点。

詳細は、募集要領を確認してください。

賞味期限は「おいしいめやす」

期限表示の意味を正しく理解していただくため、コンテストで選ばれた愛称「おいしいめやす」を活用し、事業者の協力を得て普及啓発キャンペーン（ポスター掲示、レジ画面への提示等）を実施。



「てまえどり」の普及啓発

買い物のとき、買ってすぐ食べるものであれば、商品棚の手前にある商品など、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶこと。

販売期限が過ぎて廃棄されることによる食品ロスを削減する効果が期待される。

6月1日から、コンビニエンスストア4社（セブン-イレブン、ファミリーマート、ミニストップ、ローソン）にて啓発キャンペーンを実施中



国の災害用備蓄食品の有効活用について（申合せ）

国の災害用備蓄食品について、食品ロス削減及び生活困窮者支援等の観点から有効に活用するため、各府省庁において申合せ。

1. 入替えにより、供用の必要がないものとして、不用決定を行った災害用備蓄食品については、必要な場合を除き、原則フードバンク団体等へ提供

(1) 各省庁等における売払手続の実績を勘案し、賞味期限までの期間が概ね2か月以内の食品については、売り払うことができないものとして、提供の対象とする。

(2) 賞味期限までの期間が概ね2か月超の食品については、適正な予定価格を設定し、オープンカウンター方式等により売払手続を行い、売り払うことができなかつたものを提供の対象とする。

(3) 賞味期限が近づいている場合や、賞味期限を過ぎたものを提供しようとする場合には、例えば、安心して食べきる目安となる期限の情報提供を行うなど、円滑な提供に向けて配慮する。

2. 災害用備蓄食品の提供に関する情報については、各府省庁においてwebサイトに掲載のうえ、農林水産省においてポータルサイトを設け、各府省庁の情報を取りまとめて公表。

3. まずは中央府省庁（外局を含み、東京都に所在する官署に限る。）で実施することとし、これら以外の地方支分部局、施設等機関等の官署についても可能なところから対応するなど、順次取組を拡大。

申合せ事項については、各府省庁の取組状況等を踏まえ、今後も必要に応じ見直し。

【申合せ参加府省庁】

内閣官房、内閣法制局、復興庁、内閣府、宮内庁、公正取引委員会、警察庁、金融庁、消費者庁、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省

※フードバンク団体等には、フードバンク団体のほか、子ども食堂など、生活困窮者等に対し食料・食事の提供を行う団体を含む。

特設ページ「「新しい生活様式」での食品ロス削減の工夫」

「新しい生活様式」での
食品ロス削減の工夫

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言は解除されましたが、「三つの密」の回避や「人と人との距離の確保」など日常の行動での配慮が引き続き求められます。

こういった状況の中、お店は営業時間の短縮や座席数の削減等を行う一方、引き続き、テイクアウトやデリバリー、インターネット販売を行うなど販売方法を工夫し、食品の有効活用に取り組んでいます。

また、インターネット販売サービスを行う事業者の中には、生産、収穫されたが行き場を失った新鮮でおいしい農水産物や加工食品を食品ロスにしないために販売しているサイトもあります。

こういったサービスを利用して、引き続き感染に気をつけながら、食品ロスの削減につながる行動をしてみませんか。

新型コロナウイルスの感染対策として、自宅で過ごす機会が増えてきていることから、感染対策、食品ロス削減の観点で消費者向けに、地方公共団体や事業者の取組など情報を発信。

- 2020年5月1日 消費者庁食品ロス削減特設サイト内にページ「緊急事態宣言下での食品ロス削減の工夫」として新設。
- 2020年5月26日 緊急事態宣言の解除により、ページのタイトルを「「新しい生活様式」での食品ロス削減の工夫」に変更し、継続中。

目次

- ◆ 飲食店のテイクアウト販売を活用
- ◆ 引取り手がなく捨てられそうな農産物などを販売するインターネットサイトの活用
- ◆ 購入した食品を使いきる工夫
- ◆ 関連リンクについて

(情報・リンク等は、随時更新)

消費者庁食品ロス削減特設サイト
「「新しい生活様式」での食品ロス削減の工夫」

